

を問う

な施策として、18歳までの医療費の無料化、出産

Q

井田 晴己 議員



- A. 国県からの情報発信に合わせて啓発する**
- Q. 村の子育て支援計画は！**

9月17日に
7人が一般質問をしました。

井田 晴己 議員

- ・村の子育て支援計画は！
- ・病児保育・病後児保育の実施を！

上田 光彦 議員

- ・飛島村防犯対策補助金の額を現在の1万円から引き上げるべきである
- ・防災対策について

鈴木 康祐 議員

- ・防犯カメラの設置と、防犯カメラ設置補助金の新設を
- ・飛島温水プールの維持管理は
- ・飛島公共バスに位置情報システムの導入を
- ・久野時男村長の次期選挙は

小川 政徳 議員

- ・服岡地区の排水整備状況を問う

渡邊 一弘 議員

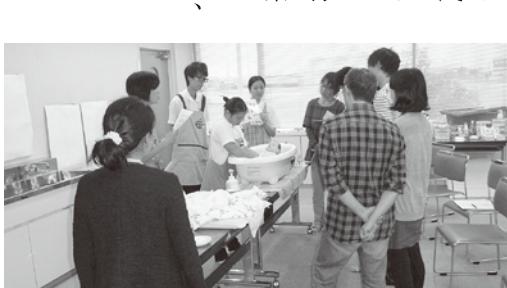
- ・村道の拡幅を求める
- ・夏休み中、児童のプールの使用状況は

服部 康夫 議員

- ・業者の格付けは厳格にされているか
- ・老人クラブのあり方（活性化について）

橋本 渉 議員

- ・国民健康保険料を値下げせよ
- ・温水プールの利用促進で健康増進を進めよ



パパママ教室

女性の社会参加が進み共働き世帯が増加している中で、働く人が子供を育てながら、働き活き活きと働き続けてい

A 久野時男 村長



実現に向けた企業への働きかけが記述してあります
ですが、どのようなことを
考えているか伺います。

女性における労働力率の上昇を踏まえ、働きながら子育てができるワーク・ライフ・バランスの医療費の無料化、出産

くためには、仕事と生活の調和が不可欠であると
考えます。子ども・子育て支援法に基づく基本方針に即し、県は男女がともに安心して子育てしながら働き続けるように、男性の長時間労働の改善や育児等との両立など、男性の働き方の見直しを始めとした職場環境の整備を推進することとしています。村でも、労働者への育児休業や労働法規等の周知を促進するとともに、ママ教室を活用するなど、

アバリ!!

施策

Q. 病児保育・病後児保育の実施を!

A. 医療機関の協力を視野に入れ 慎重に進める

A 女性の就労継続
にとって、子ども
が病気になった時の保育
の場の確保は必要である
と考えています。しかし、
保育に従事する看護師や
保育士の確保が必要であ
り、また利用者が少ない
と安定的な運営ができない
ことなどが考えられる
ことから、医療機関の協
力を視野に入れた病児保
育の実施に向けて、慎重
に進めたいと考え
ています。

父親の育児参加を促し、
夫婦が共同で子育ての喜
びを感じることができる
よう支援していきます。
今後、村内企業に対し
て国県からの情報発信に
合わせて、チラシ等を配
布するなど啓発していく
ます。

井田晴己 議員

Q 子供が急な病気
のため仕事を休ま
なくてはならない場合も
あり、共稼ぎの家庭にお
いては、両親のどちらか
が休み看病することとな
ります。

子育てと仕事を両立で
きる環境の整備が必要で
あり、病児保育・病後児保
育の早期実施を要望する。

村長

A 女性の就労継続
にとって、子ども
が病気になった時の保育
の場の確保は必要である
と考えています。しかし、
保育に従事する看護師や
保育士の確保が必要であ
り、また利用者が少ない
と安定的な運営ができない
ことなどが考えられる
ことから、医療機関の協
力を視野に入れた病児保
育の実施に向けて、慎重
に進めたいと考え
ています。



防犯カメラ

補助対象額については、
平成25年から平成27年に
申請のありました平均は、
約3万5千円であり、他
の補助金と比べても上限
額ではないと思われます。

Q. 飛島村防犯対策補助金の額を現在の一 万円から引き上げるべきである

A. 補助対象者及び補助額の 引き上げを検討する

そこの店が荒らされたと
か、自販機が壊されお金
を盗られた、などとよく
聞きます。また出荷を控

えた農作物を盗まれたな
ど、決して不注意だった
訳ではなく、貴重な飛

島村の財産が盗まれてい
くのを、飛島村は強い意
思と姿勢で阻止するため

にも、現行の補助金の額
は、あそこの家に空き巣が入ったとか、あ

くのを、飛島村は強い意
思と姿勢で阻止するため

島村の財産が盗まれてい
くのを、飛島村は強い意
思と姿勢で阻止するため



上田光彦 議員

Q 日常の会話の中
で、あそこの家に空き巣が入ったとか、あ

くのを、飛島村は強い意
思と姿勢で阻止するため

島村の財産が盗まれてい
くのを、飛島村は強い意
思と姿勢で阻止するため

A 飛島村防犯対策
補助金は、犯罪を
未然に防ぎ、「安全・安
心・安定のむらづくり」
を目的に、「防犯対策」
を実施した者に対し、予
算の範囲内において補助
金を交付しています。

補助対象額については、
平成25年から平成27年に
申請のありました平均は、
約3万5千円であり、他
の補助金と比べても上限
額ではないと思われます。

仮に限度額を上げるとしたら、平均の半額相当である1万5千円から2万円程度であろうと思われます。また、この補助金については、1世帯1回を限度としていますので、すでに補助金の交付を受けている世帯とのバランスについても検討をする必要があるのではないかと考えています。

企業や各自治会より申請があった場合、補助金を出す計画はあるのか」については、現在の補助金でも村内に住所を有する企業は、補助対象となっています。一方、自治会については、補助対象外となっていますが、要望又は意見等を聞かせていただき検討をしていきたいと考えています。

マグニチュード8・8クラスの大地震と、それに連動した同程度以上の大地震が発生したと想定し

たものですが、体が不由であったり逃げ遅れたりした時、渚地区（指定避難所は飛島学園）の場合、近隣の北部避難所（旧飛島小学校）とか、服岡の一時避難所に避難した場合、その避難所の非常用品に不足は出ないのか。収容人員をオーバーしないのか。つまりは快く受け入れてもらえるのかをお聞きしたい。

また梅之郷地区の避難所建設計画が進んでいないが、仮に今すぐ合意に至つたとしても完成まで

Q. 防災対策について

A. 被災時には、近くの避難所に避難を

上田光彦 議員

Q 8月30日に行わ
れた防災訓練は、

に3年以上かかります。
早急に地区と調整して合
意されることを強く要望

します。
も余裕を見て確保させて
いただいているので、企
業の方や、村内を通過

することも想定していま
す。住民の方には、普段
から家庭で災害が発生し
た時、いろいろな状況を
話しあっていただき、各

A 避難所のキャパ
シティーについて
は、災害時に誰でも避難
していただいて構いません。
屋上部分のスペース

や通路部分については收
容人員を算定する際の避
難スペースに含めていま
せんし、備蓄等について
も余裕を見て確保させて
いただいたと認識してい
ましたが、平成26年度に
度確認したところ、三

十間堀については、梅之
郷地区住民全員の了解を
得られたわけではないと
いうことがありました。
農業関係者が所有する土
地であり、梅之郷全体の
共有の土地ではないとの
ことでした。平成26年度
に地区から避難所の場所
を聖苑の南側の駐車場で
どうかという提案があり
ましたので、検討をさせ
ていただいているところ



避難所備蓄品の一部(アルファ米等)

今後の予定としては、
12月を目途に、再度、地
区会議に説明をさせてい
ただく予定です。

自分の判断で避難していました。
梅之郷地区については、
だくようにお願いをしています。

平成25年度に地区会議に

おいて、梅之郷地内の三

十間堀に避難所を建てる

ことで梅之郷地区から了



役場東駐車場のトイレを写すカメラ

Q 温水プールが開館から20年近くがたち、いたるところで不具合を聞きますが、村として今後どう維持管理を

A. 維持管理を含め根本的な改修を検討する

していくのですか。

村内外から多くの利用

者に利用していただくな

どいわれているこの飛島

村の住民、村外の人々へ

の還元施設であるはずで

Q 飛島村では、空き巣の被害があとを絶ちません。村長は安心で安全な暮らづくりを

と言っていますが、忘れ

たころに村内のどこかで

空き巣の被害が発生して

Q 蟹江警察の生活安全課長が防犯カメラは犯罪抑止に非常に効果があると、

質問に答えていました。

他の自治体で、整備が

進み飛島村が無法地帯にならないよう早急に防

犯カメラを主要な通りに

設置し、撮影すること

を可能と思われますが、

あくまで道路の撮影とい

うことでしか活用できま

せんので空き巣犯罪の抑

制につながることは難し

A 主要な家並みの通りに防犯カメラを設置し、撮影すること

は可能と思われますが、

あくまで道路の撮影とい

うことでしか活用できま

せんので空き巣犯罪の抑

制につながることは難し

いことでした。そのため、防犯に必要な事項を精査して、新たな防犯対策の補助金について、検討を重ねていくことが必要ではないかと考えています。

台風の被害把握のために、監視カメラの整備の計画もしていますが、なかなか進んでいないのが現状です。先の防犯会議でも、

心に役立ててください。そして各家庭にも防犯カメラの設置のため現在の

防犯対策補助金とは別に設置し、住民の安全、安

全に役立ててください。

いのではないかと思われます。また、「各家庭で防犯対策で設置するカメラに補助金を」について

Q. 防犯カメラの設置と、防犯カメラ設置補助金の新設を

A. 防犯対策補助金の検討を重ねていく



鈴木康祐 議員

Q

飛島村では、空き巣の被害があとを絶ちません。村長は安心で安全な暮らづくりを

と言っていますが、忘れ

たころに村内のどこかで

空き巣の被害が発生して

鈴木康祐 議員

Q

飛島村では、空き巣の被害があと

ころはきつちりと直し、いつまでも誰もが快適に利用できるようにしていただきたいが、村としてはどう様に考えているのか。

A
村長



温水プール窓口

飛島温水プールは、平成8年4月、健康長寿のむらづくりの中核施設として開設されたすこやかセンター内にあります。現在、一般利用

以外に、健康長寿のプログラムや飛島学園小中学の水泳授業、総合型スポーツクラブの水泳教室、水泳クラブでも利用され

ており、老若男女を問わざるがまま、利用されています。現在、一般利用

この夏も多い日は、1600人を超える日があり、人気の水泳施設となっています。

従の嘱託職員1名を配置して、よりよいサービスの提供に努めています。

すると約300人ですが、万人程度で、1日当たりに年間利用者数は、8

平成27年8月末までに約169万人の皆様にご利用頂いています。ここ数年

が経過、来年度には20周年を迎えます。その間、

そこで今後こうした状況に対処するためには、設備全体の現状を把握する

ことが必要と考え、今年度実施している、すこやかセンターの長寿命化を図るための補修工事設計

委託業務の中で、温水プールの設備機器の調査を実施しています。この結果をもとに、今後の維持管理を含め根本的な改修が必要かどうか検討したいと考えています。

ず、村民の健康づくりになくてはならない施設となっています。施設管理についてですが、開館以来、管理運営や設備機器

保守等の業務を専門業者に委託するとともに、専

守の運行していますが、利用者のさらなる利便性をはかるため、飛島村バス位

置情報サービスの導入を

求めます。

Q 飛島村では、村内の公共交通とし

て、飛島公共交通バスを

運行していますが、利

用者のさらなる利便性をは

かるため、飛島村バス位

バス停で待っていてもなかなか来ないと不安になります。情報がリアルタイムでとれない今の状況では、バス利用に二の足を踏みます。バスの運行状況が分かれば利用者の不安解消になり、またバスへの信頼性が増します。

今年の大雪の日には、遅れてきたバスに身動きが出来ないくらい人が乗つており、次の数分遅れたバスに、2、3人が乗っているなどという、不便をかけることも解消されます。飛島公共バスは、唯一の飛島村の公共交通機関であり、さらなる利便性をはかるためにも、きちんと基盤整備を図り、より多くの方々が安心して利用できるためにも、バス位置情報サービスの導入を早期に取り入れていただきました。

バスロケーションシステムとは

無線通信やGPSなどを利用して、バスの位置情報を収集することにより、バスの定期運行の調整等に役立てるシステムを言う。路線バスの運行は道路事情や天候による影響が大きく、鉄道などのほかの交通機関に比べて定時制の確保が難しいが、このシステムにより問題緩和を行います。

村長

A

平成27年度から
の5カ年計画であ

に情報が確認いただける
システムが構築され、ま
た、経費等についてもか
なり低コストになつてき
ています。住民の皆様の
利便性を考えると、スマ
ホなどからバスの現在
地やバスの運行状況が確
認できるサービスは、バ
スの利用促進にもつなが
ると考えますので、バス

ロケーションシステムの
導入は、システムの導入
費や構築費が高額であり、
アンケートの結果からも、
新たな事業費の拡大は、
住民の皆さんのが望んでい
ないということから先送
りし、計画には含めてい
ません。しかし、年々、
パソコン、携帯電話、スマ
ートフォンなどで簡単
と考えています。

Q. 久野時男村長の次期選挙は

A. 後援会と十分な話し合いを持って決定したい

は。

Q

久野時男村長の
次期選挙の心構え

鈴木康祐 議員

**現村長の任期は
平成28年4月9日
まで**

村長

A

後援会の皆様と
十分な話し合いを

持ちたいと思っています。
また、より多くの村民の
皆様の支援のもとに決定
をさせていただきたいと
考えています。

Q. 服岡地区の排水整備状況を問う

A. 整備計画を作成し、順次更新したい



小川政徳
議員

Q 飛島村の中で最も低い土地で、大雨での浸水被害が真っ先に出てくる服岡地区の排水整備状況を質問します。

①東海豪雨レベルの大雨に襲われた時、飛島の排水状況は万全であるのか。

②服岡地区の「古川」においては、上流部より排水機場地点の下流部のほうが1メートル以上高いという状況で、ある程度の大雨で簡単に冠水してしまう場所があるという認識を持っているのか。

③そのような逆勾配排水



服岡排水機場

路の改修等を早急に要望する。
④現在の土地改良計画で服岡排水機場の整備はどういうに施工、計画されているか。

⑤豪雨時に、日光川において排水調整が行われた時に浸水対策は、どのようにできているのか。
⑥すでに耐用年数の過ぎている、服岡排水機場の本体建屋や排水ポンプの設備新設そして遊水池の施工を要望する。

岡地区「古川上流部」でのたん水・冠水は、大雨が降る度に警戒をしていきます。このような状況の中、現在、飛島第1排水機場の改修工事を行い、計画では、現状より1・29倍の能力を持つ排水機場が平成32年度には完成し、また、排水機場と結ぶ幹線排水路は、本年度より事業化され、詳細な調査を行い、設計に反映されるよう検討し、事業実施者である県に要望しながら、順次整備を行う計画です。

日光川の排水調整は、

日光川内水位観測所の水位が停止水位に到達したときに、海部建設事務所から飛島村長へ水位情報が通知され、最悪は日光川への排水が出来なくなります。村としては、長から気象状況を踏まえ、事前に村内の水を空にするなど対応を取っています。

服岡排水機場の更新については、飛島土地改良区と協議し、整備計画を作成し、順次更新したいと考えています。また、遊水池等についても、関係機関と協議し、進めていきたいと考えています。

A

村
長

飛島村の豪雨時における排水状況

については、近年、農地の開発及び地目変化による流出量の増加や、既設

排水機の経年変化による機能低下により、排水能力が低下し、農作物や住

宅等にたん水被害が出始めています。ご指摘の服

岡地区「古川上流部」でのたん水・冠水は、大雨が降る度に警戒をしていきます。この状況の中、現在、飛島第1排水機場の改修工事を行い、計画では、現状より1・29倍の能力を持つ排水機場が平成32年度には完成し、また、排水機場と結ぶ幹線排水路は、本年度より事業化され、詳細な調査を行い、設計に反映されるよう検討し、事業実施者である県に要望しながら、順次整備を行う計画です。



服岡排水機場のゴミを上げる機械(除塵機)

Q. 村道の拡幅を求める

A. 事業化を検討する



村長

A 元起3号線当該区域は、幅員も確保されておらず人一人通

るのがやつとの状況にあります。元起地区内の村道は一部、土地改良事業

で農道として整備が実施

され後に、村道認定をし、

村が管理をしています。

当該区域の村道整備に当たっては、地区内一部

住民の要望も聞いていま

すが、用地取得等もあり、

関係者様の理解も必要と

なることから、慎重に事

業の有効性等を検討して

いきたいと考えています。



飛島神社北側の村道

Q 飛島神社北側の村道は、道幅が1メートルもなく人の行き来が難しいのが現状です。安全な往来ができるよう拡幅を求めます。せめて、人と自転車が安全に行き来できる道幅にしてほしいという住民の声も聞きました。

たとえ1メートルでも拡幅して往来が安全な村道にすべきだと思いますが、村の考え方をします。

渡邊一弘議員

Q 学園の一部父兄から児童のプールの使用にあたり不満があると聞きました。旧小学校時代には学校のプールは開放日が決められて使

用していたが、学園になりプール利用券を与えられ、そこやかセンターの

プールを利用するようになりました。しかし、期

間中は一般利用者も多く、

イモこじ状態で子どもたちがかわいそうだとこのとでした。

ですから私は期間中プール使用に飛島の児童が不自由をしているのであれば、父兄、学校、村で十分話し合いをして、飛島の子どもたちだけの優先時間帯をつくればよいと考えますが村の考えを伺います。

Q. 夏休み中、児童のプールの使用状況は

A. 夏休み中のプールの無料化を継続する

村長**飛島村立小中一貫教育校飛島学園**

で利用できるカードを配布するとともに、小学2年生以下の保護者同伴1名分を無料にし、自主的に泳力を養つてもらえること支援しています。現在のところ、先生や保護者から不自由しているとの声は聞いていません。

旧小学校プールがなくなってから今日までの夏休み期間中の状況については、小学校に調査をしたところ、この夏休み中に飛島小学校の児童が延べ891名温水プールを利用しました。利用人数を単純に児童数270名で割ると1人当たり3・3回になりますが、5回以上利用した子が6割あり、3年生で40回利用した子どもが1名いました。

先生方の子どもたちの泳力に対する評価はここ数年着実に伸びているとの評価もあり、今後も引き続き夏休み中の無料化を継続していきたいと考えています。

Q. 業者の格付けは厳格にされているか

A. 格付けは厳格にしている

**服部康夫 議員**

Q 地元業者の育成はどのように考えられてるか。

業者の体制を把握しているか。

下位ランクの業者が2ランク上の入札をしていないか。

大きな工事はJVを組ませてもらっているか。

A 地元業者の育成については大変、重要なことであると認識しているところです。これまでも、一般競争入札、

指名競争入札にかかわらず、本村における建設工事等の発注に際しては、地域要件を設けること等により、できるだけ地元業者に受注機会を設け、経験を重ねていただくことで、他自治体等の建設工事等の受注につなげていただいていると考えています。

請負業者の体制といふ面においては、あいち電子調達共同システムを通じて本村に指名願が出されている事業者は、主たる営業所の位置、資本金、従業員数等について把握しています。

下位ランクの事業者が2等級も上位ランクの入札に参加していることはありません。原則として、予定価格に応じ、当該格



入札者控室

A**飛島村立小中一貫教育校飛島学園**

の建設について村と学校、保護者と協議し、小学校のプールを廃止し、平成19年度からすこやかセンターの温水プールを利用して水泳授業を実施することとなりました。それとともに、夏休み期間中のプール開放は、平成18年に1週間実施したのを最後に、建設作業が始まった平成19年から中止となりました。それしかわるものとして平成20年から夏休み期間中、温水プールを小学生が無料

で利用できるカードを配布するとともに、小学2年生以下の保護者同伴1名分を無料にし、自主的に泳力を養つてもらえること支援しています。現在のところ、先生や保護者から不自由しているとの声は聞いていません。

旧小学校プールがなくなってから今日までの夏休み期間中の状況については、小学校に調査をしたところ、この夏休み中に飛島小学校の児童が延べ891名温水プールを利用しました。利用人数を単純に児童数270名で割ると1人当たり3・3回になりますが、5回以上利用した子が6割あり、3年生で40回利用した子どもが1名いました。

先生方の子どもたちの泳力に対する評価はここ数年着実に伸びているとの評価もあり、今後も引き続き夏休み中の無料化を継続していきたいと考えています。

指名競争入札にかかわらず、本村における大規模工事等の発注に際しては、事の発注に際しては、で引きだけJVの編成を前により、できるだけ地元業者に受注機会を設け、経験を重ねていただくことで、他自治体等の建設工事等の受注につなげていただいていると考えています。

請負業者の体制といふ面においては、あいち電子調達共同システムによる入札参加資格申請が困難な

こととなっています。本村における大規模工事等の発注に際しては、事の発注に際しては、で引きだけJVの編成を前により、できるだけ地元業者に受注機会を設け、経験を重ねていただけるよう配提とすることで、地元業者の皆様が多く経験を重ねていただけるよう配慮しているところです。

さらに、小規模工事等においては、あいち電子調達共同システムによる入札参加資格申請が困難なこととなっています。本村における大規模工事等の発注に際しては、事の発注に際しては、で引きだけJVの編成を前により、できるだけ地元業者に受注機会を設け、経験を重ねていただけるよう配提とすることで、地元業者の皆様が多く経験を重ねていただけるよう配慮しているところです。

A 近年の、老人クラブ入会者や、例会への参加者が少なくなつてきており、役員の皆様が、老人クラブの運営に、大変ご苦労いただいていることは、聞き及んでおります。老人クラブは、村にとつて高齢者を見守るネットワークの担い手になるなど、その活動に対して大いに期待をしているものであります
が、任意団体として地域を基盤とする高齢者の自ら実施してきており、クラブ員の皆様には、ある程度のご理解をいただいていることと考えています。クラブ員の勧誘や入会の実施指導、各種研修会や講習会、趣味・娯楽のための便宜を供与させていただいており、あわせて健康の維持増進のため、ふれあい温泉も無料でご利用していただいているなどの支援を従来から実施してきており、クラブ員の皆様には、ある程度のご理解をいただいていることと考えています。クラブ員の勧誘や入会の実施指導、各種研修会や講習会、趣味・娯楽のための便宜を供与させていただいており、あわせて健康の維持増進のため、ふれあい温泉も無料でご利用していただいています。クラブ員の皆様には、ある程度のご理解をいただいていることと考えています。

Q　近年、新規加入者が激減しているか。例えば、温泉の土・日曜日・夜の利用料を何か対策を考えられていて、会員に割安にする等。

服部康夫議員

主的な組織であると認識して います。村では、老人クラブ員の加入促進と クラブの活性化、また各 単位クラブや老人クラブ連合会の活動を支援する ための補助金や、例会時 等の送迎バスの運行、例 会開催時を中心として 会員の方々の生活や健康

会方法等につきましては各地域で、それぞれの実情もあることは思いますが、生活と地域に根差した活動となるよう、時代に即した魅力ある老人クラブづくりのために、連合会役員の方々を中心にお検討いただきます。

Q. 老人クラブのあり方 (活躍ヒント)

A. 魅力あるクラブづくりのために引き続き活動支援を実施する

Q. 国民健康保険料を値下げせよ

A. 情報収集を図りつつ、しばらくの間は現状維持する

ため、特に低所得者層を支援すると言つて、今年多く、負担が大変になつています。

度1700億円の支援金を出しています。さらに飛島村は今年度の国から支援金は300万円ほどつづつ支給してい

ます。国民健康保険料は社会保険料と比べ大変高
値下げができます。
飛島村も支援金を出し

くなっているためです。



老人クラブ例会



平成27年6月1日付「国保新聞」

村長

A 先の国保制度改革において、平成30年度から都道府県が市町村とともに国保の運営を担うということと共に、国は、低所得者対策の強化のため財政支援強化を行なうとして、平成27年度から平成30年度までの4年間において、毎年1700億円を投入することを決定しました。また、平成30年度には、国保が都道府県単位になることもあり、更なる国費1700億円が追加投入され、合計3400億円をかけ

て財政基盤の強化を図っていくということです。制度改めには、他にも、一般会計繰入金の縮小を推進していくとも言われております。今後、計画的に縮小を図る必要が生じてくる時期がくると思われます。保険税などについても、現在、国と地方の協議の中で順次進められており、詳細なことはいまだ決定されていませんので、他市町村の情報の収集を図りつつ、状況を維持させていただきたくと考えています。

て財政基盤の強化を図っていくということです。制度改めには、他にも、一般会計繰入金の縮小を推進していくとも言われております。今後、計画的に縮小を図る必要が生じてくる時期がくると思われます。保険税などについても、現在、国と地方の協議の中で順次進められており、詳細なことはいまだ決定されていませんので、他市町村の情報の収集を図りつつ、状況を維持させていただきたくと考えています。

橋本涉議員

Q 湯水プールはで

きてから10数年たつてあるため、修理管理が大変になっています。今後の修理管理をどのようにしていくのかお聞きしたい。



湯水プール

Q. 湯水プールの利用促進で 健康増進を進めよ

A. 利用促進に向け、 ソフトとハードの両面で検討する

村長

A 施設管理について

では、先ほど鈴木康祐議員からのご質問に回答しましたが、ここ数年は、設備機器の経年劣化による故障が相次ぎ、その都度修理を行つてしまつました。しかし、迅速な対応ができず、利用

康増進のために使うべきです。今年度は事業が一つ減ったこともありますから、もともと湯水プールは、健康増進のために造られたものでありますから、健康のために利用推進を行なうべきです。

湯水プールの利用を健

康増進のために使うべきです。今年度は事業が一つ減ったこともありますから、もともと湯水プールは、健康増進のために造られたものでありますから、健康のために利用推進を行なうべきです。

者にご不便をおかけすることもありました。今後こうした状況に対応するために、設備全体の現状を把握することが必要となるすこやかセンターの長寿寿命化を図るために補修工事設計委託業務の中で、温水プールの設備機器の調査を実施しています。

いずれにしても、長寿社会が進展する中で温水プールを活用した高齢者の健康増進プログラムの充実や水泳教室等の新たなニーズに応えていくために、ソフトとハードの